

米国オレゴン州旅行(1998)

—その6:ユージンからクレーターレイクへ—

7月9日(木)

宿泊した Valley River Inn で、毎朝配布される地元紙 The Register-Guard は再生紙を使用していた。本誌には Special Hotel Edition が添付されており、Good Morning!Enjoy your stay.で始まり、Around the Inn: Welcome to Eugene と続き、囲み部分に、このホテルの支配人の歓迎のメッセージがあり、ユージン全体の見所紹介と広告が裏表に書かれていた。

<http://www.registerguard.com>



ホテルの concierge desk (顧客サービスデスク) で、クレーターレイクへの行き方を尋ねた。ホテルから高速の DELTA HWY へ I - 105 から I - 5 への進み方を詳しく教えてくれた。I - 5 を南下してすぐルート 58 へ進む、58 は片側 1 車線の上、カスケード山脈を横断する産業

道路であり木材を積んだ大型のトラック等が沢山通るので、十分注意して運転する様にとのコメントがあった。後はルート 97、ルート 138 と表示に従って進めばクレーターレイクに行けるとの事であった。クレーターレイクはかなり雪があるので、防寒着を忘れないようにと付け加えられた。厚さ 1 cm、直径 20 cm のお化けのようなハム付きのアメリカンとフルーツプレートの朝食を食べて出発、教えてもらった通り進み、ルート 58 へ地方道にしては多少交通量は多いが、時々すれ違う程度である。勇敢なシカやリスが時々横断するのでこちらが目をつぶってしまう。しばらく行くと Covered Bridge の Lowell Bridge があった。これは観光用で一般には供用されていない。ルート 58 を一旦離れて、Westfir の村に Office Bridge という Covered Bridge を見に行った。この橋も一般に供用されていないと言った方が良いと思う。と言うのは、橋を渡ると Dead End (行き詰まり) になっており、完全に観光用である。橋の前には洒落た B & B (客室は 5 室位か) があり、空室ありとあったが、海外からの予約は難しいであろう。裏道を通って Oakridge へ、ホーム

が線路と同じ面にある鉄道の駅を中心に町があるがどこに町があるか判らない位閑散とした町であった。ガソリン給油のためスタンドを探したが、町の中心には見当たらず、結局、ルート58との合流点で、小さなスタンドを見つけて給油、その前に町には不相応な大きなスーパーマーケットがあった。恐らく、登山、キャンプなどをする人が、食料等を買込む必要があるのであろう。地図で見るとこれから先町らしい町はしばらくなさそうである。Oakridge を出てすぐ、右に入る道路があり、hills Creek Reservoir と Kitson Hot Springs があると表示されていた。ルート58はSalt Creekに沿って鉄道と共に進むが、途中、Mc Credie Hot Springs と言うのが、川の中にあると案内書に書いてあったが、気が付かずに過ぎてしまった。途中、ごみ回収作業のための徐行区間や工事中で、一方通行の区間があった。かなり行くとWillamette Pass(カスケード山脈を超える峠、海拔1561m)に到着。大きなビジターセンターがあり、スキーリフトもあって、冬のスキーシーズンには沢山の人が訪れるのではないかと思うが、夏期は閑散としている。地図に360度の展望の表示があったので、係りの人に尋ねるとカスケード山脈に沿ってTrail(山道)があり、そこを登れば展望が開けるとの事であった。峠を後にして、左にOdell Lake と Crescent Lake を見ながら進むと左遠方に雪を被ったDiamond Peak(2666m)が見えた。少し行くとルート97と合流した。それを16マイルほど、南下する。この道路は少し広く片側2車線、更にその外側の林が20m位の巾で伐採されていた。恐らく、冬季の除雪スペースかも知れない。ルート138迄に2-3小さな町を通過するが、通常の55マイルの制限速



度が35-45マイルに下げられる。ルート138が近づくと林の遥か向こうにMt. Thielsen (2799m) (先の尖った山)が右に見えて来る。ルート138を右折、15マイルほど、全くの直線コースが続くアップダウンはあるが何しろ真っ直ぐ、速度を55マイルにセットして自動運転。Pacific Crest National Scenic Trailが横切る Cascade Mountain Pass(1846m)

を通過、Mt. Thielsen が右前方から右となり、更に右やや後方になったところで、クレーターレイクの入り口表示があり、左折、まもなく国立公園の北入り口(North Entrance Station(1783m))がある。通行料は乗用車1台当たり(乗車人数に関係なく)10ドル、9日14:17通過、15日まで有効。林の中をしばらく行くとPUMICE DESERTと言う平らで、木が全く生えていない所を通過、残雪が岩肌に見られる様になると、North Junction。ここで、クレーターレイクを一周する道路(Rim Drive)と合流、何箇所か見晴台があり、クレーターレイクを一望出来た(感激)。1/4周位で、Crater Lake Lodgeへ到着。ホテルの周囲には残雪があり、その雪解け水で道路を流れていた。この辺は総称してRim Villageと呼んでおり、Cafeteria, Gift shop, Visitor Centerがある(海拔2165m)。

Sinnott Memorial Overlook (Rim Village の Visitor Center 前の展望台) は残雪のため利用禁止であった。

話を Covered Bridge にもどすが、それが建設された理由は第一次世界大戦と深く関連している様です。すなわち、戦中戦後、鋼鉄が著しく不足し、潤沢にある木材で、代替えしたと考えられます。こうした観点で、Covered Bridge の建設された時期を見てみるとほとんどが1920年以降になっています。第一次世界大戦は1914に勃発したので、上記



の理由が成り立ちます。最も、最近は観光が主目的になっていて寿命の来た橋も保存しているのが実状の様です。

こんな所にも歴史の流れを感じます。ところで、右の画像は Westfir にあるオレゴン州の Covered Bridge の中で最も長い180 feet の Office Bridge という橋です。昔、製材所のオフィスがあったので、この名が

付けられたそうです。従業員の通行のため歩道が付けられているのも珍しいと言われています。また、材木を積んだ重いトラックの通行に耐えるようにダブルビーム構造になっているそうです。

左の写真はクレーターレイクロッジです。Crater Lake Lodge の背景の山の白いところは雪です。この他にもロッジの周りは雪に覆われていました。

